

平成29年度

事業報告書

社会福祉法人平取福社会

障害者支援施設	すずらん
就労継続支援事業所	さるがわ
共同生活援助事業所 (外部サービス利用型)	せきえい

事業報告書 目次

1. 法人運営を取り巻く現状	1
2. 法人全体の収支決算の状況	1
3. 法人組織の運営状況	1
4. はじめに (すずらん)	2
5. 施設運営等について	2
6. 障害者支援施設すずらん事業内容について	3
(1) 生活介護事業	3
(2) 施設入所事業	3
7. 就労支援事業さるがわの事業内容について	3
(1) 農産事業	3
(2) 林産事業	3
(3) 木工事業	3
(4) 施設外支援事業	3
(5) 施設就労援事業	3
(6) 受託支援事業	3
8. 外部サービス利用型共同生活援助せきえい事業内容について	4
(1) 共同生活援助事業 (グループホーム)	4
9. 障害者支援施設すずらん拠点区分収支決算について	4
10. 添付資料	
(1) 利用者出身別調 (資料1)	5
(2) 利用者程度別年齢別調 (資料2)	6
(3) 利用者月別利用状況調 (資料3)	7
(4) 利用者重複障害状況調 (資料4)	7
(5) 利用者障がい程度区分判定状況調 (資料5)	7
(6) 主な利用者各種行事及び検診等状況調 (資料6)	8~10

法人本部事業報告書

1. 法人運営を取り巻く現状

国では、社会福祉法人が、公益性や非営利性に見合う経営組織や財務規律を実現し、地域社会に貢献するという法人本来の役割を果たしていくよう法人の経営を見直すことを目的として平成28年3月に社会福祉法等の一部改正を行なったところです。

平取福祉会においても法律に基づいた定款等の変更により理事等の権限や責任等を明確にするとともに、議決機関としての評議員会の設置、計算書類等を公表し、事業運営の透明性の向上を図ってきたところです。

2. 法人全体の収支決算の状況

各拠点区分会計を合わせた法人全体の資金収支計算書における決算では、事業活動による収支差額がマイナス949千円、施設整備等による収支差額がマイナス4,833千円、その他の活動による収支差額が11,725千円となっており、これを合算した平成29年度の当期資金収支差額の合計が5,943千円となったところであり、しかし、この差額には、積立金取崩収入額として20,301千円含まれていますので、これを除く収支差額では、マイナス14,358千円となったところであり、引き続き厳しい経営状況となっています。

3. 法人組織の運営状況

平成29年度は、理事会8回、評議員会を7回それぞれ開催し、法人本部の設置や事業実施計画及び資金収支計画の策定、就業規則など各種規程の改正に取り組んだところです。

法人本部機能の一元化につきましては、平成29年8月に本部事務局を設置したところですが、次年度以降は、各施設でそれぞれ行っております人事管理や経理事務の本部集約化を段階的に進めてまいります。

事業実施計画及び資金収支計画などの中期計画の策定においては、将来にわたり必要な事務事業と持続可能な施設経営とのバランスを、長期的な展望にたって見通せるものでありまして、今後は、この計画を基本として事業を推進いきたいと考えています。

また、給与規程の改正では、現行の給料表の見直しに併せて特殊業務手当及び業務手当を廃止するとともに、扶養手当につきましても国の基準に沿った内容としたところです。

4. はじめに

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）に基づき障害者支援施設すずらんは、生活介護事業と施設入所事業、就労継続支援事業所さるがわは、就労継続支援 B 型事業をまた、共同生活援助事業所せきえいでは、外部サービス利用型共同生活援助事業を行い、地域生活を支える多様な事業展開と就労に関する支援を充実させ一般企業への就労を含めた社会経済活動への参加を促進するなど、利用者の自己実現を目指し支援を行なってまいりました。また、障害者虐待防止法及び障害者差別解消法などの法律を遵守し適正なサービスの提供と質の向上に努めてまいりました。

5. 施設経営等について

施設経営にあたっては、平取福社会の「事業の基本方針」及び当施設の「事業計画書」に基づき法人の経営方針を遵守し、個人の尊厳を基本理念に、利用者と職員の心のふれあい、安全確保を重点に捉え、日々のあらゆる場面での支援に努めてきました。

すずらん・さるがわ・せきえいがそれぞれの専門的立場に立って地域福祉のニーズに対して、地域社会で生活していくための必要なサービスを十分に受けることができるよう、関係機関との連携を密にし利用者の支援サービスに努めてきたところでもあります。

また、季節に合った行事や旅行、買物外出、見学会等を実施したところでもあります。

施設行事の実施にあたっては、利用者の希望を取り入れるなど、利用者本位の運営に努めてきたところでもあります。

毎年実施しております当施設最大イベントである収穫祭については、晴天に恵まれ町内外から多数のご来場を賜りまた、地域のボランティア団体やすずらん会の協力を頂き盛大の中、終了したところでもあります。

町内のイベントに積極的に参加し、地域との繋がりにも配慮しながら運営にあたってきたところでもあります。

また、就労継続支援事業所さるがわにおける収益の増を図るため、担当職員の部門別研修会に積極的に参加し、知識・技能の習得と併せて情報交換にも努めてきました。

更には、職員による虐待報道等があることから、職員会議での虐待防止やコンプライアンスの遵守について取り組んできたところでもあります。

6. 障害者支援施設すずらんの事業内容について

(1) 生活介護事業

利用者の心身の状況等に応じた介護や介助をサービスの基本捉え、状況に応じて軽作業等も取り入れながら健康の維持増進と合わせて、安心・安全な生活環境を確保し、その他の便宜を適切かつ効果的に行なってまいりました。

(2) 施設入所事業

利用者が日中活動と併せて夜間において介護や介助をして、その人らしい生活を営むことができるよう支援し、生活の充実に努めてまいりました。

7. 就労継続支援事業所さるがわの事業内容について

(1) 農産事業は、利用者の高齢化に伴う作業能力の低下や、気候の関係で病気になった作物があり、殺菌剤を散布したが回復せず収穫量が減り予算より減収となっております。

また、加工品の牛肉コロッケと鹿肉コロッケも、予定通りの量を製造できず予算より減収となっております。

(2) 林産事業は、イベント販売と取引先のが減収となっておりますが、山の駅は引続き収入増となっております。また、今年度より実施した冬季間の栽培休止による燃料等の増大がなく、赤字の軽減となっております。

昨年に続き、札幌市場に出品したシイタケ品評会で「優良賞」を取ることができ、職員・利用者のやる気アップに繋がりました。

(3) 木工事業は、出店販売を積極的に展開し知名度と出店販売の依頼数が増えた。また、新製品のチラシ等委託先に送付し、発注が入り相乗効果で既存の製品にも発注が入ることにより収入に増に繋がりました。また、受注生産についても、オリジナル性を高めたことで、発注量が増えました。

(4) 施設外支援事業は、実習先の開拓により受け入れ先が増えたことで収入が増えました。

(5) 施設外就労事業は、4月中旬から9月下旬に掛けて、職員1名と利用者1～6名が作業に行き収入が増えました。

(6) 受託支援事業は、施設内調理実習は前年度と変わりがなく、洋服仕立て直しの収入は若干ではありますが増えました。

8. 外部サービス利用型共同生活援助せきえいの事業内容について

(1) 共同生活援助事業（グループホーム事業）

グループホームについては、せきえい・はばたき・ほろしり・あおぞら・きみかげ・みなもとの6ヶ所を運営して、利用者が地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者の身体・精神の状況並びに環境に応じて相談・援助や経費削減に取り組んで来たところであります。

9. 障害者支援施設すずらん拠点区分収支決算について

資金収支計算書による事業活動収入は、247,532,755円で事業活動支出は、245,931,252円、事業活動資金収支活動差額は、1,601,503円施設整備等収支・その他の活動収支を含め、当期資金収支差額はマイナス1,050,555円で決算したところであります。

当初予算で見込んでいた収入は、支援費においては減になり、また、支出では野菜などの食材費や車両・ボイラーの燃料費の高騰などで不足が生じ補正をして対応してきましたが、最終的には、施設整備、その他の活動を含め赤字決算となっております。

また、今年度は、感染症のインフルエンザA型が流行し行事を中止したり作業を一時休止したことについては、普段からの予防についてさらなる徹底をし、流行しないよう努めてまいりたいと思います。

その他、職員による木工作业中の機械操作時に治具を使用せず、不注意からの事故について、労務管理の徹底と注意喚起を行ったところであります。

以上平成29年度の事業執行状況について報告いたしましたが、平成30年度は施設職員が、安心して利用者支援に専念できるよう職員の資質向上に努めるよう取り組んで参りたいと考えております。

利用者出身地別調

資料 1

平成30年4月1日現在(人)

市町村名	居住場所						日中活動					
	施設入所			GH/通所			生活介護			就労継続支援B		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
平 取 町	6	7	13	6	1	7	6	5	11	6	3	9
日 高 町	3	3	6	1	1	2	4	3	7	0	1	1
新 ひ だ か 町	4	0	4	2	0	2	3	0	3	3	0	3
浦 河 町	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0
様 似 町	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0
え り も 町	0	2	2	0	0	0	0	1	1	0	1	1
日高管内計	15	12	27	9	2	11	15	9	24	9	5	14
厚 真 町	2	0	2	0	0	0	2	0	2	0	0	0
む か わ 町	0	2	2	1	0	1	0	2	2	1	0	1
上 士 幌 町	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
白 糠 町	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
釧 路 町	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1
厚 岸 町	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1
訓 子 府 町	1	1	2	0	0	0	1	1	2	0	0	0
清 里 町	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0
広 尾 町	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1
他管内計	4	5	9	4	0	4	3	4	7	5	1	6
芦 別 市	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1
恵 庭 市	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0
函 館 市	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0
岩 見 沢 市	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	2	2
釧 路 市	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0
帯 広 市	1	2	3	0	0	0	0	1	1	1	1	2
苫 小 牧 市	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1
富 良 野 市	0	0	0	2	0	2	0	0	0	2	0	2
千 歳 市	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1
札 幌 市	5	2	7	3	1	4	4	2	6	4	1	5
市 計	8	6	14	8	3	11	6	5	11	10	4	14
合 計	27	23	50	21	5	26	24	18	42	24	10	34

利用者程度別年齢別調

資料 2

平成30年4月1日現在(人)

障害程度区分 年齢別(歳)	1		2		3		4		5		6		未判定		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
【施設入所者】																	
～19																	0 0 0
20～29								1	1								1 1 2
30～39						1	1	1				1					2 2 4
40～49					2	1	5	3	1	1		2					8 7 15
50～59			1		3	1	1				1	1					6 2 8
60～69					1	2	2	5	1	1							4 8 12
70～					4		1		1	2		1					6 3 9
計	0	0	1	0	10	5	10	10	4	5	2	3	0	0	27	23	50
【グループホーム者】																	
～19																	0 0 0
20～29			1														1 0 1
30～39				1	2												2 1 3
40～49			3		5												8 0 8
50～59			2	2	1	1											3 3 6
60～69			1	0	3												4 0 4
70～	1																1 0 1
計	1	0	7	3	11	1	0	0	0	0	0	0	0	0	19	4	23
【通所者】																	
～19			1						1								2 0 2
20～29																	0 0 0
30～39																	0 0 0
40～49																	0 0 0
50～59																	0 0 0
60～69				1													0 1 1
計	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	1	3
合計	1	0	9	4	21	6	10	10	5	5	2	3	0	0	48	28	76
	男	女	合計														
最低年齢	19	27															
最高年齢	81	79															
平均年齢	51.0	55.0	53.0														

利用者月別利用状況調

資料 3

平成30年4月1日現在(人)

年月日	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	30	場所	
	4/1	5/1	6/1	7/1	8/1	9/1	10/1	11/1	12/1	1/1	2/1	3/1	4/1		
居住場所	男	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	施設入所
	女	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	
	計	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	
	男	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	グループホーム
	女	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
	計	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	
	男	2	2	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	通所
	女	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	
	計	4	4	3	3	3	3	3	4	3	3	3	3	3	
合計	77	77	76	76	76	76	76	77	76	76	76	76	76		
日中活動	男	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	(生 活 介 護)
	女	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	
	計	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	
	男	24	24	23	23	23	23	23	24	24	24	24	24	24	さ る が わ
	女	11	11	11	11	11	11	11	11	10	10	10	10	10	
	計	35	35	34	34	34	34	34	35	34	34	34	34	34	
合計	77	77	76	76	76	76	76	77	76	76	76	76	76		

利用者重複障害状況調

資料 4

平成30年4月1日現在(人)

区分	てんかん	統合失調症	その他の精神疾患	脳性麻痺以外の肢体不自由	視覚・聴覚障害	身体障害	合計	備考
男	15	2	3	1	1(聴覚)	3	25	
女	5	4	10	1		1	21	
合計	20	6	13	2	1	4	46	

利用者障害程度区分判定状況調

資料 5

平成30年4月1日現在(人)

区分	1	2	3	4	5	6	合計	平均	未判定
男	1	9	21	10	5	2	48	3.312	0
女	0	4	6	10	5	3	28	3.892	0
合計	1	13	27	20	10	5	76	3.526	0

主な利用者各種行事及び検診等の状況調

月日	事 項	内 容 等
4	3 開園記念日	開園記念お祝い昼食会
	25 環境整備	すずらん・さるがわ分担にて園舎内外の清掃
	26 誕生会	誕生者希望メニューで食堂で食べる
5	11 花見会・誕生会	交流ホームにてジンギスカンを食べる
	20 単独日帰り外出	苫小牧イオン買物1名
	25 健康診断	利用者・職員本施設で受ける
	27 単独日帰り外出	ゆから温泉3名
	28 単独日帰り外出	ゆから温泉1名
6	2 特定検診	振内町民センターにて46名
	15 避難訓練	調理室より出火想定、指定避難場所へ避難
	16 脳波検査	静内石井病院5回に分け実施
	17 単独日帰り外出	富川町買物1名
	18 振内小学校運動会	見学8名参加
	21 誕生会	誕生者希望メニューで食堂で食べる
	24 日胆地方会パークゴルフ大会	伊達市4名 引率職員2名
	30 日帰り外出	伊達市1名 引率職員1名
7	2 振内町民パークゴルフ大会	ニセウエコランドにて2名
	6 野外食	すずらん・さるがわそれぞれでの場所で食べる
	11 オンブズマン来訪	利用者2名と面談
	22 一泊旅行	定山溪方面7名 職員4名～23日
	25 一泊旅行	定山溪方面12名 職員4名～26日
	26 誕生会	誕生者希望メニューで食堂で食べる
	30 幌尻まつり	振内鉄道記念公園希望者参加

月日	事 項	内 容 等
8	3 日帰り外出	苫小牧イオン買物12名 引率職員5名
	19 日帰り外出	札幌ドームプロ野球観戦3名 引率職員2名
	26 ふれあい広場	ふれあいセンターにて参加
	27 日帰り外出	さるがわ買物3名 引率職員1名
	28 日帰り外出	さるがわ買物3名 引率職員1名
9	7 日帰り外出	苫小牧イオン買物5名 引率職員3名
	9 神社祭典～10日	振内八幡神社希望者参加
	11 日帰り外出	苫小牧イオン買物1名 引率職員1名
	20 誕生日会	誕生日希望メニューで食堂で食べる
	20 日帰り外出	苫小牧イオン買物10名 引率職員5名
	21 一泊旅行	洞爺湖方面15名 引率職員5名～22日
	23 単独日帰り外出	富川町買物1名
10	1 収穫祭	第31回障害者支援施設すずらん収穫祭
	22 衆議院議員選挙	振内町民センター
	24 日胆地方会利用者スポーツ 交流会	苫小牧市4名 引率職員1名
	25 誕生日会	誕生日希望メニューで食堂で食べる
11	2 芸能発表会(夜)	振内文化協会芸能発表会見学 希望者参加
	2 避難訓練・消火訓練	調理室より出火想定、指定避難場所へ避難
	3 文化祭(日中)	振内文化協会作品展見学 希望者参加
	7 インフルエンザ予防接種	振内診療所～11/末日
	9 健康診断	利用者・職員本施設で受ける
	9 日帰り外出	白老町2名 引率職員2名
	19 日帰り外出	苫小牧イオン買物2名 引率職員1名
	29 誕生日会	誕生日希望メニューで食堂で食べる

月日	事 項	内 容 等
12	7 餅つき会	餅つき会 すずらん・さるがわ参加
	クリスマス会	インフルエンザ流行のため中止
	誕生会	インフルエンザ流行のため中止
1	21 単独日帰り外出	苫小牧イオン買物3名
2	11 単独日帰り外出	札幌市買物・雪まつり見学4名
	13 冬期レクレーション	交流ホームでゲーム、昼食は鍋料理を食べる
	17 単独日帰り外出	ゆから温泉2名
	19 日帰り外出	苫小牧方面買物さるがわ利用者5班に分かれ～25E
	21 誕生会	誕生者希望メニューで食堂で食べる
3	1 単独日帰り外出	苫小牧イオン買物1名
	8 慰労会	すずらん 食堂にて外注弁当・カラオケ参加者40名
	8 慰労会	さるがわ ゆから温泉参加者34名
	14 誕生会	誕生者希望メニューで食堂で食べる
	17 単独日帰り外出	ゆから温泉1名
	21 単独日帰り外出	苫小牧イオン買物1名
	22 避難訓練	グループホーム利用者対象で行う
	31 単独日帰り外出	ゆから温泉1名、富川町買物1名
毎月	朝会／診察	朝会＝月1回／診察＝月1回石井病院医師34名受診

平成29年度

事業報告書

社会福祉法人 平取福社会
特別養護老人ホーム平取かつら園
びらとりデイサービスセンター

施設利用者一人ひとりの人格と人権を尊重し、更には福祉ニーズの把握に努め、心の通った適切なサービスになるよう、計画・実行(実践)・反省(評価)・改善のシステムを取り入れながら実践してまいりました。

(3) 職員組織と機能強化について

施設経営の円滑かつ効率化を図るため職員組織の充実と機能強化に進めてきましたが、反省にたつて職員組織の見直しや職員としての意義・意欲等についても問い直し、マンネリ化を防ぐためにも、人間関係の再構築、職務に対しての認識を再確認する必要があります。

全国的にも介護員、看護師、調理員不足が深刻な社会的な問題となっており、当施設でも介護員、調理員の応募が少ない状況であり、今後は、応募の方法など検討が必要と思われます。

職員研修について、職員の人員不足のため、計画どおりに参加させることができなく、今年度は、必要な研修に参加させ、職員自身の意識向上と利用者の質の向上を目指していきます。

(4) 財務(会計)管理について

平取かつら園拠点区分の会計につきましては、施設全体の経費節減、特養の入退所の早期入替え、デイサービスでは利用頻度の拡大等などに職員が一丸となって努力した結果、資金収支計算書による収入は276,012,788円で、支出は272,011千円、資金収支活動差額は4,001千円、施設整備等収支・その他活動収支(うち積立資産取崩11,096千円)含め、当期資金収支差額は8,766千円で決算したところでございます。

今後の施設経営につきましては、介護報酬の単価が下がることが予想され、益々、施設経営が困難となり、引き続きの経費節減を実行し、介護報酬については、国の動向を的確に把握しながら健全な施設経営ができるよう平取町及び法人と協議しながら進めていきたいと考えております。

(5) 食事サービスについて

施設利用者への食事サービスは、保健・医療サービスとともに直接的に生命にかかわるサービスであり、利用者にとっても最も楽しみにしているものです。また、常に食品衛生面に注意しながら、施設利用者の健康状態や嗜好の状況を把握し、一人ひとりがより美味しく、より楽しく食事をしていただくよう配慮しながら提供できるよう努力を重ねておりますが、利用者の重度化に伴い、誤嚥防止に努めていますが、目を離せない利用者が増えている現状です。

施設利用者の食事サービス状況は、次のとおりとなっております。

(人)

	普通食	粥食	刻み食	極刻み食	ミキサー食	経管栄養
男	2	12	5	5	2	1
女	10	20	17	4	4	2
計	12	32	22	9	6	3

(一部重複)

(6) 入浴サービスについて

施設利用者への入浴は、生きがいづくりのひとつとしてサービスの重点にあげながら清潔感、爽快感を味わってもらおうと共に、機能訓練も兼ねて介助、援助にあたっています。平成29年度についても、月

・火・木・金曜日を入浴日として、一般入浴、車椅子入浴、ストレッチャー入浴の3種類に分けて、最低、週2回は施設利用者全員に入浴していただいております。状況に応じた介助にあたっております。

なお、入浴の状況は次のとおりとなっております。

(人)

一般入浴		車椅子入浴		ストレッチャー入浴	
男	女	男	女	男	女
3	10	7	16	5	10
13		23		15	

(7) 保健・医療サービスについて

施設利用者の健康を保持・管理し、疾病状況に対応する保健・医療サービスは、常勤の看護師3名が日常的に健康チェックしながら嘱託医と相談し指示を受けながら看護にあたりました。

嘱託医（平取町国民健康保険病院長・内科医長）については、週1回（平日）に来園し、回診を行う一方、平取町国民健康保険病院と連携を保ちながら施設利用者の疾病の程度に応じて、与薬・通院・入院の処置をとってもらっていますが、どの利用者についても、疾病・障害をもっていますので、いつ何時、体調が急変する可能性があり、昼夜にわたりオンコール体制を強化しているところです。

今後は、更に保健・医療サービスについても、利用者の疾病状態を常に把握しながら適切な処置・対応ができるように努めてまいります。

なお、通院・入院状況は次のとおりとなっております。

①月別通院状況

(延人)

	平取町国保病院			苫小牧市内の病院			平取町内の歯科医院			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
4月	3	8	11	3	2	5	1	0	1	17
5月	3	8	11	3	0	3	2	0	2	16
6月	4	13	17	3	1	4	4	2	6	27
7月	2	7	9	2	1	3	0	1	1	13
8月	0	10	10	5	2	7	0	2	2	19
9月	2	5	7	2	1	3	0	1	1	11
10月	2	5	7	4	1	5	0	4	4	16
11月	1	9	10	3	1	4	0	0	0	14
12月	5	11	16	3	0	3	0	0	0	19
1月	4	4	8	1	0	1	0	0	0	9
2月	4	7	11	3	0	3	0	0	0	14
3月	0	12	12	1	1	2	0	1	1	15
延数	30	99	129	33	10	43	7	11	18	190

※3か月毎のしのじま皮膚科・たに眼科（苫小牧市）の往診診療の延人数は除いています。

②通院時の受診科実数及び入院実数

(人)

受診科別実数				月別入院者実数			
受診科別	男	女	計	月	男	女	計
内科	8	21	29	4月	0	1	1
外科	3	5	8	5月	0	1	1
整形外科	0	6	6	6月	0	3	3
もの忘れ外来	0	1	1	7月	0	1	1
循環器内科	0	1	1	8月	0	0	0
泌尿器科	2	0	2	9月	1	2	3
皮膚科	2	6	8	10月	1	1	2
口腔外科	0	1	1	11月	0	1	1
脳神経外科	0	1	1	12月	1	3	4
精神科	2	1	3	1月	0	4	4
歯科	1	6	7	2月	1	1	2
				3月	1	1	2
計	18	49	67	計	5	19	24

入院者実数	24人	入院延日数	337日
-------	-----	-------	------

(8) リハビリテーションについて

施設利用者につきましては、日常生活動作をリハビリテーションの一環と位置付け、生活の活性化を図り、生活にアクセントを持たせ、機能回復などにも努め適切に対応した介助ができるよう研究、実践を重ねてまいりました。

デイサービスでは、作業療法士を雇用し、身体機能の訓練を行うことで、住み慣れた地域で少しでも長く在宅生活が継続していただけるために努めており、10月より作業療法士が育児休業から復帰し、個別機能訓練加算を取得している状況と、12月から介護予防の強化のため、平取町介護予防・生活支援サービス事業通所型サービスC(短期集中リハビリ)を平取町から受託し開始したところであります。

(9) 行事及びレクリエーションについて

季節的行事及びレクリエーション、特別行事なども企画実施し、単調な生活にならないよう変化を持たせ、期待感をもった楽しい生活になるよう創意工夫をこらしながら実施してきております。

また、歌・舞踊などの観賞会については、地域のボランティアグループ、特別支援学校・中学生の方たちの訪問などがあり、施設利用者との交流を深めながらの行事を継続しています。

今後はさらに施設利用者の実態に応じながら、行事そのものの見直しを行い、内容、方法などにも検討を加え、生きがいと楽しみにつながるような行事・レクリエーションとなるよう工夫し実施していきます。

なお、当施設のメイン行事として、地域とのふれあい交流を促進し、理解と協力を得る行事として『第27回かつら園まつり』は7月23日開催し、施設利用者の家族をはじめとして、多くの地域の方々の参加を得て盛会に終えることができました。

(10) 地域交流サロンについて

社会福祉法の改正に伴い、社会福祉法人の公益活動の責務の義務化に伴い、平成29年1月より平取生活館にて、少しでも住み慣れた地域で自分らしい生活を送ることができる町づくりの一環として、地域交流サロンを毎週火曜日に2時間程度実施しています。

平均26名程度（本町地区）の利用があり、介護予防体操を中心に活動していますが、職員だけで活動することではなく、ボランティアグループ（かつら会）及び町保健福祉課の支援を受けながら実施しており、利用者からの反響がよく、参加希望の利用者が増えつつあり、今後も継続していきたいと考えております。

(11) ボランティア活動について

善意あふれる地域ボランティア活動は、施設利用者のサービスの向上、ふれあい地域交流・生きがいづくりの大きな支えとなっております。

園定例行事の特別行事には必ずといってよいほどボランティアグループの方々が来園され、大きな喜びや楽しみを与えてくださいましたし、訪問ボランティアばかりでなく、作業ボランティアの方々も定期的に来園され、窓ふき、オムツたたみなどの清掃活動も行って頂いたほか、施設利用者との交流により、福祉施設に対する理解が一段と深められたものと思います。

(12) 防災・事故防止について

災害は予期もせずによってきますので、施設利用者・デイサービス利用者の「生命安全」を第一に防護・防災計画を立て、日常的な火災予防、生活安全、交通安全の意識の高揚とともに防護・防災体制の確立、避難訓練の実施など万全を期してまいりました。夜間における火災想定避難訓練は7月19日実施、日中における火災想定避難訓練は11月29日、自然災害避難訓練は3月14日にそれぞれ消防署の指導を受け実施しております。

(13) その他

広報紙『かつら園だより』（年2回発行）や『デイサービスだより』（年2回発行）を通じて、施設利用者、デイサービス利用者及びその家族に運営状況を知っていただき、理解、支援、協力関係を更に深めるよう努力をしてまいりました。今後も更に広報活動なども活発にしていきたいと考え、施設利用者・デイサービス利用者の方々の生活に安心・潤い・ゆとりをもってもらい、平取かつら園が地域の高齢者福祉の拠点として、また、地域住民の方々にとってもひとつの憩いの場としてふさわしい環境整備に努めてまいります。

(14) 各事業実績（平成30年3月31日現在）について

① 施設利用者利用状況

年度	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
平成29年	稼働率	98.07%	101.48%	100.20%	99.55%	99.55%	98.00%	99.35%
	利用延数	1471	1573	1503	1543	1543	1470	1540
平成28年	稼働率	101.53%	97.61%	99.20%	97.35%	93.87%	97.13%	96.26%
	利用延数	1523	1513	1488	1509	1465	1457	1492
比較	稼働率	-3.46%	3.87%	1.00%	2.20%	5.68%	0.87%	3.09%
	利用延数	▲52	60	15	34	88	13	48

年度	項目	1.1月	1.2月	1月	2月	3月	合計
平成29年	稼働率	98.47%	97.29%	94.52%	98.50%	98.77%	98.65%
	利用日数	1,477	1,508	1,465	1,379	1,531	18,003
平成28年	稼働率	98.47%	98.52%	97.16%	97.93%	97.23%	97.67%
	利用日数	1,477	1,527	1,506	1,371	1,507	17,825
比較	稼働率	0.00%	-1.23%	-2.64%	0.57%	1.54%	0.98%
	利用延数	0	▲19	▲41	8	24	178

(延人)

② 施設利用者介護度状況

年度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
平成29年	0	1	12	26	12	51	3.96
平成28年	0	4	9	23	14	50	3.94

(人)

③ 施設利用者日常生活動作～寝たきり度

年度	自立	軽度		準寝たきり		寝たきり			合計	
		J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1		C2
平成29年	0	0	0	0	8	14	19	4	6	51
平成28年	0	0	0	1	9	16	12	3	9	50

(人)

④ 施設利用者認知症日常生活自立度

年度	自立	軽度	中度	重度	合計
		(I)	(IIa～IIb)	(IIIa～M)	
平成29年	0	2	7	42	51
平成28年	0	1	9	40	50

(人)

⑤ 施設利用者出身地別構成

地区	男	女	計
川向	1	0	1
紫雲古津	1	3	4
去場	1	5	6
荷菜	0	1	1
本町	3	12	15
二風谷	2	2	4
貫氣別	0	6	6
芽生	1	0	1
長知内	0	1	1
幌毛志	0	1	1

地区	男	女	計
振内町	5	2	7
岩知志	0	1	1
平取町内計	14	34	48
日高町	1	1	2
苫小牧市	0	1	1
平取町以外	1	2	3
合計	15	36	51

(人)

⑥ 施設利用者年齢構成

区分	男	女	計
65才～69才	0	0	0
70才～79才	4	2	6
80才～89才	6	14	20
90才～99才	5	17	22
100才以上	0	3	3

(人)

平均年齢	
男	80.27歳
女	91.92歳
全体	88.49歳

⑦ 短期入所利用者利用状況

年度	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
平成29年	一日平均	4.37	5.23	5.00	5.00	4.81	4.63	5.48
	利用者数	131	162	150	155	149	139	170
平成28年	一日平均	5.20	5.10	3.20	3.10	2.55	3.00	3.10
	利用者数	156	158	96	96	79	90	96
比較	一日平均	-0.83	0.13	1.80	1.90	2.26	1.63	2.38
	利用者数	▲ 25	4	54	59	70	49	74
年度	項目	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
平成29年	一日平均	5.37	4.77	3.84	3.71	3.74	4.67	
	利用者数	161	148	119	104	116	1,704	
平成28年	一日平均	3.43	2.90	3.74	2.96	3.48	3.48	
	利用者数	103	90	116	83	108	1,271	
比較	一日平均	1.94	1.87	0.10	0.75	0.26	1.19	
	利用者数	58	58	3	21	8	433	

(延人)

⑧ デイサービス利用者利用状況

年度	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
平成29年	一日平均	21.52	22.00	22.96	23.42	23.11	23.84	22.69
	利用者数	538	594	597	609	624	596	590
平成28年	一日平均	18.69	19.50	20.08	18.62	17.69	17.31	18.31
	利用者数	486	507	522	484	460	450	476
比較	一日平均	2.83	2.50	2.88	4.80	5.42	6.53	4.38
	利用者数	52	87	75	125	164	146	114
年度	項目	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
平成29年	一日平均	23.38	23.73	23.42	25.91	24.19	23.32	
	利用者数	608	617	562	596	653	7,184	
平成28年	一日平均	18.85	20.19	21.08	19.96	19.41	19.12	
	利用者数	490	525	506	479	524	5,909	
比較	一日平均	4.53	3.54	2.34	5.95	4.78	4.20	
	利用者数	118	92	56	117	129	1,275	

(延人)

⑨ 食の自立支援事業(給食サービス)利用状況

年度	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
平成29年	利用食数	225	265	283	254	316	285	277
平成28年	利用食数	262	280	290	284	281	261	238
比較	利用食数	▲ 37	▲ 15	▲ 7	▲ 30	35	24	39
年度	項目	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
平成29年	利用食数	272	270	216	260	327	3,250	
平成28年	利用食数	221	225	173	197	218	2,930	
比較	利用食数	51	45	43	63	109	320	

(延食)

⑩ 地域交流サロン「かつら」利用状況

年度	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
平成29年	一日平均	26.30	22.20	23.50	24.80	26.50	24.50	26.40
	利用者数	105	111	94	99	106	98	132
平成28年	一日平均							
	利用者数							
比較	一日平均							
	利用者数							
年度	項目	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
平成29年	一日平均	31.30	25.30	29.30	27.00	28.30	26.20	
	利用者数	125	101	117	81	113	1,282	
平成28年	一日平均			12.50	22.50	26.80	20.60	
	利用者数			50	90	107	247	
比較	一日平均			16.80	4.50	1.50	5.60	
	利用者数			67	▲ 9	6	1,035	

(延人)

3. 利用者（平取かつら園・デイサービス） 行事等実施状況について

月 日	行事等	内 容 等
4 月 1 日	平成29年度開始 (開園記念日) 在宅サービス 医師の回診 医師の往診 園内定例入浴 理 髪 ボランティア 誕 生 会 辞 令 交 付 式 健 康 診 断 29 日 ボランティア	ホーム利用者50名(男14名女36名)・(ホーム34名デイ12名 計46名)で事業開始し、昼食時に開園29周年を祝う。 施設サービスと併せショートステイ事業・デイサービス事業を開始する。また、地域交流サロン・食の自立支援事業(平取町社会福祉協議会から委託)を開始する。 週1回、ホーム利用者の健康管理のため、平取町国民健康保険病院の院長若しくは内科医長が来園し、回診を実施する。 3ヶ月に1回苫小牧市のしのじま皮膚科・たに眼科が往診をいただいている。 通年で週4回(月・火・木・金)の定例入浴を実施する。 毎月1回、本町の植木理容院が理髪のため来園する。 毎週火曜日にボランティアサークル「かつら会」2〜4名洗濯たみ・地域交流サロン援助等で来園する。 毎月、ホーム・デイサービスで実施する。 理事長より新年度の挨拶及び辞令交付式(昇格・昇給等)を実施する。 ホーム利用者の健康診断開始(8回に分けて実施)する。 天理教窓ふきボランティア7名が来園し実施する。
5 月 10 日 14 日 21 日	園 外 研 修 母 の 日 地 域 行 事	ホームお花見ドライブを実施する。6名参加 宇南山商事よりホーム女性利用者に花束プレゼントされる。 フラワータウンフェスタ(義経街道花の応援団)に職員5名参加する。
6 月 18 日 21 日 22 日 27 日 28 日	父 の 日 ボ ラ ン テ ィ ア デ イ 行 事 ボ ラ ン テ ィ ア 園 内 レ ク	宇南山商事よりホーム男性利用者に花束プレゼントされる。 平取養護学校3年8名、清掃活動ボランティアを実施する。 デイ焼肉週間を28日まで実施する。 平取養護学校3年8名、清掃活動ボランティアを実施する。 ホーム焼肉昼食会を実施する。
7 月 16 日 19 日 20 日 23 日	ボ ラ ン テ ィ ア 避 難 訓 練 ボ ラ ン テ ィ ア 施 設 行 事	天理教窓ふきボランティア7名が来園し実施する。 ホーム・デイ合同による日中想定避難訓練を実施する。 平取養護学校3年8名、花植えボランティアを実施する。 第26回かつら園まつり実施する。
8 月 9 日 15 日 24 日 26 日	園 内 レ ク 園 外 レ ク ボ ラ ン テ ィ ア 地 域 行 事	大正琴(琴友会9名)演奏会を実施する。 義経神社祭典のため、8町内の子供による神輿が来園する。 平取養護学校3年8名、花壇草取りボランティアを実施する。 平取町社会福祉協議会主催の「ふれあい広場」職員3名参加する。
9 月 7 日 17 日 20 日 27 日	デ イ 行 事 寄 附 施 設 行 事 園 内 レ ク	デイ敬老週間を13日まで実施し、長寿を祝う。 びらとり苫小牧会37名来園し「樽前文庫」として3万円の寄附を受ける。 ホーム敬老祝賀会を実施し、長寿を祝う。 紫雲古津老人クラブ演芸部6名による歌・舞踊を見学する。
10 月 10 日 16 日 18 日	健 康 診 断 デ イ 行 事 不 在 者 投 票 職 場 体 験 実 習	ホーム利用者の健康診断開始(8回に分けて実施)する。 デイ芋煮会21日まで実施する。 ホーム衆議院議員選挙不在者投票を実施する。(30名投票) 平取高校生1名、ホームにて職場体験実習を19日まで実施する。

月 日	行事等	内 容 等
11 月 3 日	園 外 レ ク	ホーム利用者5名、平取町文化祭見学する。
6 日	園 内 レ ク	平取中学3年生の交流会をホーム食堂にて実施する。
13 日	デ イ 行 事	デイ買い物ツアーを本町農協外にて実施する。
15 日	園 内 レ ク	平取婦人会6名の舞踊を実施する。
29 日	避 難 訓 練	ホーム・デイ合同による夜間想定の避難訓練を実施する。
12 月 1 日	デ イ 事 業	デイサービス通所型サービスC(短期集中リハビリ)を開始する。
13 日	園 内 レ ク	ホームクリスマス会を実施し、フラダンス・舞踊を実施する。
	デ イ 行 事	デイクリスマス週間を19日まで実施する。
20 日	園 内 レ ク	ホーム餅つき会を実施する。
31 日	園 内 レ ク	ホーム夕食時に、年越会を実施する。
1 月 1 日	園 内 レ ク	ホーム朝食時に、新年交礼会を実施する。
18 日	デ イ 行 事	デイ新年親睦週間24日まで実施する。
31 日	寄 贈	公益社団法人苫小牧地方法人会平取支部より歩行器を寄贈受ける。
2 月 3 日	デ イ 行 事	デイ豆まき(節分)週間を9日まで実施する。
	園 内 レ ク	ホーム豆まき(節分)実施する。
3 月 14 日	避 難 訓 練	ホーム・デイ合同による自然災害想定 of 避難訓練を実施する。
26 日	デ イ 行 事	デイ一年間通所ご苦労様週間を31日まで実施する。
31 日	平成29年度終了	<p>①特別養護老人ホーム事業 男性15名・女性36名 計51名</p> <p>②ショートステイ事業 年間延利用者数 1,704名 実利用者数27名 1日平均利用者数 4.67名</p> <p>③デイサービス事業 年間延利用者数 7,184名 1日平均利用者数 23.32名 年間開催日数 308日 年度末登録人数93名(予防25名・介護68名)</p> <p>④食の自立支援事業(平取町社会福祉協議会からの委託) 年間延食数 3,250食</p> <p>⑤地域交流サロン事業 年間延利用者数 1,282名(49回開催) 1回平均利用者数 26.2名</p>

平成29年度

事業報告書

社会福祉法人 平取福社会

軽費老人ホーム

ケアハウス しずか

目 次

1. はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1
2. 事業目標における反省・評価・改善について・・・・・・・・ P 1～P 3
 - (1)入所者処遇について
 - (2)職員について
 - (3)施設経営について
 - (4)防災について
 - (5)地域との連携・交流について
 - (6)同法人各施設との連携及び交流について
3. 運営計画における反省・評価・改善について・・・・・・・・ P 3～P 15
 - (1)事業の目的
 - (2)事業の内容
 - (3)日課表
 - (4)年間行事報告
4. 研修計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 15～P 16
 - (1)施設内研修
 - (2)施設外研修
5. その他・・・・・・・・・・・・・・・・ P 16
 - (1)入所者年代構成表
 - (2)入所者前住所別構成表
 - (3)入所者要介護度構成表

1. はじめに

わが国における65歳以上の高齢者人口は3,459万人で高齢化率（総人口に占める65歳以上の人口の割合）は27.3%に上昇し、「65～74歳人口」（前期高齢者）は1,768万人、総人口に占める割合は13.9%、「75歳以上人口」（後期高齢者）は1,691万人、総人口に占める割合は13.3%となっており、平成54（2042）年には65歳以上の高齢者人口が3,935万人でピークを迎え、その後は減少に転じるが平成77（2065）年には高齢化率は38.4%に達し、約2.6人に1人が65歳以上になると見込まれております。平取町における高齢化率は全国平均を大きく上回っており、今後とも増加傾向にあることから、身体機能の低下等により自立した日常生活を営むことについて不安があると認められる者であって、家族による援助を受けることが困難なものを入所させ、食事の提供、入浴等の準備、相談及び援助、社会生活上の便宜の供与、その他の日常生活上必要な便宜を提供することにより、入所者が安心して生き生きと明るく生活できるようにすることを目指して平成16年に「ケアハウスしずか」を開設し運営してきたところであります。

しかしながら、開設から14年が経過し、自立されていた入所者の方々も次第に身体機能が低下し、介護認定者が増える中、介護や見守りが必要な方が増加傾向にあることから、一人ひとりの適確な現状と福祉ニーズの把握に努め、より一層の充実したサービスが提供できるよう取り組んできたところであります。

平成29年度の事業報告にあたり、平取町をはじめ関係する諸機関、団体、地域の方々に、多大なるご支援、ご協力をいただき心から感謝申し上げますところであります。

2. 事業目標における反省・評価・改善について

開設14年目に当たる今年度は、軽度要介護者が30%を占める中、一人ひとりの適確な現状と福祉ニーズの把握に努め、従来の職員が「支援する側」、入所者が「支援される側」という画一的な関係性から抜け出した入所者同士の関係形成を通じた相互支援の促進に努めてきたところであります。

(1)入所者処遇について

平成29年度は、定員の20名（男性5名、女性15名）で事業がスタートしています。この一年間の入所者の動向として、退去者が3名（内訳としては他の施設へ2名・在宅へ1名）・新規入所者3名（女性2名・男性1名）であり、3月31日現在、男性6名・女性14名の計20名となっています。

このようなことから、比較的健康的な高齢者とはいえ、急激な身体機能の低下により、ケアハウスしずかでの生活は困難と思われたの方々については、包括支援センター等の関係機関と連携を図りながら、家族と協議のうえ、他の施設の利用等を促し、欠損が生じた場合には速やかに入所判定会議を開催し、入所者の確保に努めてきたところであります。

施設内の生活については、日々の職員と入所者との会話やアンケート調査等を通して、入所者のニーズを適確に把握し、明るく楽しい生活が送れるよう支援を行い、

介護予防を考慮した健康体操や脳トレ、レクリエーション、季節行事等を積極的に取り入れ、また、入所者個人の趣味・嗜好・自主的な活動に対しては、生きがいを持ち、楽しく取り組めるよう、側面から支援をしてまいりましたが、高齢化に伴いレクリエーションや町外ドライブの参加人数は減少傾向にあることから、新しい事業の導入について検討していかなければならないと考えております。

(2)職員について

施設長1名、生活相談員1名、介護員2名の計4名で運営してまいりましたが、ケアハウスは生活の場であり、人と人とのふれあいの場でもあります。従って、職員は福祉専門職としての知識や技術の向上のみならず、人間や生命の尊厳、人間的共感や愛情、人を思いやる心など基本的な人としての資質の向上に努めることが求められております。本年度も施設運営上、研修や講習会への参加機会が少なかったですが、書物や文献等を通し、専門知識や技術を身につけるとともに福祉行政の動向にも着目し施設職員としての資質の向上に努めてきたところであります。

また、定例の職員会議等で、互いの業務を理解するとともに、施設運営に対し、共通認識を持ち業務に当たってきたところであります。

(3)施設経営について

会計基準を遵守しながら会計事務所の定期的な指導のもとで予算の適正な執行と、可能な限りの経費節減に努めながら対応したところであります。平成29年度では、資金収支の収入は46,048千円、支出については47,821千円で、今年度末資金収支差額につきましては△1,773千円となり、前年度より1,730千円の増となっております。開設14年を迎え各所修繕費の支出増加によるもので、今後も、施設の維持管理、設備の修繕に多額な費用も必要となり、さらに厳しい運営となる状況であります。

(4)防災について

今年度についても昨年同様に、東日本大震災を教訓に自然災害、火災マニュアルに基づき災害を想定した年3回の消防職員の指導・立会いの下、避難・防災訓練を実施し職員の意識の高揚を図るとともに入所者への意識付けを行ってまいりました。

現在の入所者は、自己判断は可能であります。自力での避難が難しい方もおり、今後更に自力避難が難しい方が増加すると推測されますので、近隣町内会への避難時の協力、スプリンクラー設置等を考慮していかなければならないと思われま

(5)地域との連携・交流について

入所者の健康と安全を考慮し、今年度においても歯科衛生士による口腔衛生講習や、保健師による健康相談、町生活安全係職員による交通安全講習などを関係機関の協力を得て実施をしてまいりました。

また、町内行事については、情報を提供する中で参加の呼びかけをするとともに

施設内行事では地域のボランティア団体を招聘するなどして連携・交流を図ってまいりました。

このような事業活動を基本として更なる地域との連携・交流を広めていきたいと考えています。

(6)同法人各施設との連携及び交流について

社会福祉法人平取福祉会の事業執行方針に基づき、管理職会議等で各施設の経営に関する情報交換等を行うなどして、各施設間の連携を強化するとともに親睦を図りながら各施設の充実に努めてきたところであります。

また、平成16年9月より就労支援事業所さるがわの利用者4名の職場実習を継続的に受け入れをしております。

3. 運営計画における反省・評価・改善について

開設14年目に当たる今年度は、入所者3名の入れ替えがありましたが、一人ひとりの適確な現状と福祉ニーズを把握し、その心身の状況や希望に応じたサービス提供をしてきたところであります。

(1)事業の目的

在宅高齢者の自立支援対策の一環として、様々な事情から居宅で生活することが困難になった高齢者に対し、低料金で住居を提供し、併せて食事や入浴のサービスを提供することによって心身共に充実した明るい生活を送ることができるよう支援することを事業の目的としてまいりました。

(2)事業の内容

①入所者

入所者の条件は60歳以上の方で家庭や住宅の事情により、家族と同居することが困難な自立した日常生活が可能な方とする。20の居室については、入退去者がいる中、絶えず満室となるよう努めてまいりました。

②利用料

入所者利用料基準に基づいて徴収する。福祉サービスなどの利用料金は全額本人負担。

③利用定員

20名（内夫婦部屋2組）

④サービス内容

ア. 相談・助言等

入所者の人生経験や生活歴、境遇等からくる人間性や自尊心を尊重し、まず話を聞くことを第一と考え、個人的な問題や心配事、共同生活上の人間関係などの諸問題、福祉ニーズ等各種相談に応じるとともに適切な助言等に努めてまいりました。また、体力的・精神的に自立した生活を保持・継続することを考慮し、できるだけ助言のみにとどめ、答えや結論に関しては職員側からの押し付けはせず、自主的・自発的にご本人が判断できるよう行ってまいりました。

更には、アンケート調査や懇談会を開いたり、日常生活の中でニーズの把握に努め、共同生活の利点を守りつつ、入所者一人ひとりが充実した生活をしていただけるよう、きめ細やかな対応を心掛けてまいりました。

資 料

※生活アンケート(H30年1月実施)

・回答数 20名中/14名回答

◎入浴について

設 問	答 え
浴室や脱衣室等の使い勝手はいかがですか？	<ul style="list-style-type: none"> ・とても良い 1名 ・良い 6名 ・今のままで良いと思います 1名 ・不自由なく使わせていただいています 1名 ・特になし 2名
壊れている箇所など気になる事があれば書いて下さい。	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 5名 ・予算があれば男子浴室の右側シャワーも交換してほしい

◎レクリエーション(脳トレ・カラオケ・手芸・ぬりえなど)について意見があれば書いて下さい。

カラオケについて	<ul style="list-style-type: none"> ・お風呂のない日にお願いします 4名 ・午前が良いと思います 1名 <p style="text-align: right;">(複数回答)</p>
その他に、やりたい事はありますか？あれば書いて下さい。	<ul style="list-style-type: none"> ・百人一首を月1回行ってください 1名 ・特になし 1名

◎季節の行事(クリスマス会・花見会・敬老会)及び誕生会・昼食会・ドライブ等について

春に遠足を行事に組み入れましたが今後参加されたいですか？	<ul style="list-style-type: none"> ・参加したい 13名 ・参加しない(できない) 1名
買い物の回数はいかがですか？	<ul style="list-style-type: none"> ・今のままでいい 7名 ・もう少し増やして欲しい 4名

季節の行事で何か気づいた事などあれば書いて下さい。	<ul style="list-style-type: none"> ・良く考えて下さっており、ありません ・入居して14年目、初めて年越しの気分が味わえて良かった 2名 ・外に出る行事が多いと良いです 1名 ・特になし 1名
---------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

◎共有場所（ふれあいスペース、洗濯室、食堂など）について

清潔で気持ちよく使用できますか？	<ul style="list-style-type: none"> ・はい 10名 ・どちらともいえない 2名
しずかの生活でいくつか規則がありますが、何か気づいた事があれば書いて下さい。	<ul style="list-style-type: none"> ・洗濯室夜7時までの使用できるようにしてほしい 2名 ・とくにありません 1名

◎職員について

親切に対応してくれますか？	<ul style="list-style-type: none"> ・良い 12名 ・どちらともいえない 1名
施設に対する不満や要望を気軽に言うことができますか？	<ul style="list-style-type: none"> ・言える 8名 ・言いやすい 3名 ・言いづらい 2名
その他、ご意見、ご要望がありますか？	<ul style="list-style-type: none"> ・生活アンケートに書いてもその通りになりませんから、なりますように 2名 ・なし 2名

◎その他

苦情受付箱があるのは知っていますか？	<ul style="list-style-type: none"> ・知っている 12名 ・どこにあるか知らない 1名
その他、不便や不具合、ご意見がありましたら、ご自由にお書き下さい。	<ul style="list-style-type: none"> ・なし 5名

イ. 食事

食事サービス（1日3食提供）はケアハウスの提供するサービスの大きな柱でもあり、入所者がケアハウスでの生活を選択した理由の大きな要因と考えられます。日々の献立に季節の旬な食材を取り入れたり、行事食も豪華に目でも楽しめるように配慮しています。

日常の食事の状況や入所者との会話、嗜好調査等を通じて、個々のニーズを把握し、より美味しく、より楽しい食事を提供できるよう雰囲気や環境づくりにも配慮しています。

委託業者(株)日総とは毎月定例的に給食会議を開き行事食はもとより、日常の献立や調理員の接遇についても検討を重ねています。

また、咀嚼力の低下とともに食事動作の衰えも懸念され、調理方法・補助具による対応など、職員間のみならず(株)日総との連絡を密にし、適切な対応を心掛けています。

資 料

※入所者の要望により、おかゆの提供を行っています。

- ・毎食おかゆ3名
- ・夕食のみおかゆ3名

※嗜好調査(H30年1月実施)

- ・回答数 20名中/16名回答

◎ご飯の硬さはどうですか？

硬い	0	ちょうど良い	10	やわらかい	0
その他	2	朝硬い場合がある・作る人によって違う			

◎みそ汁の温度について？

あつい	0	ちょうど良い	12	ぬるい	0
その他	2	作る人によって違う			

◎みそ汁の味付けについて？

しょっぱい	3	ちょうど良い	10	うすい	0
その他	0	作る人によって違う			

◎副菜（おかず）の味付けはどうですか？

しょっぱい	1	ちょうど良い	14	うすい	0
-------	---	--------	----	-----	---

◎副菜（おかず）のかたさはどうですか？

かたい	2	ちょうど良い	9	やわらかい	3
-----	---	--------	---	-------	---

◎毎日の食事はどうですか？

満足している	3	普通	6	不満がある	2
不満につけた方	<ul style="list-style-type: none"> ・似たメニューが多い 3名 ・盛付け 1名 ・その他 3名 (特に夕食の量が多い、ちょうどいい、とても良い)				

◎献立に変化があり工夫されていますか？

工夫されている	9	もう少し変化をつけてほしい	1
---------	---	---------------	---

◎おかず（肉・魚・野菜料理）について教えて下さい。

シンプルなメニューが良い	9	凝ったメニューが良い	1	無回答	0
--------------	---	------------	---	-----	---

※それはどういったおかずですか？好きなおかずを書いて下さい。

<ul style="list-style-type: none"> ・どっちでもいい ・ご飯が食べられるようなおかず ・魚はうす塩にして 	<ul style="list-style-type: none"> ・塩焼きがいい 	<ul style="list-style-type: none"> ・魚の干物を焼いたもの ・ホッケ・アジの干物
--------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------

◎肉料理と魚料理ではどちらを好みますか？

肉料理の方が良い	5	魚料理の方が良い	5
----------	---	----------	---

◎めん類は週または月に何回食べたいですか？

・週1回⇒7	・週2回⇒1	・月1回⇒0	・たまにでいい⇒0
--------	--------	--------	-----------

◎麺類の時はご飯を付けてほしいですか？

付けてほしい	1	付けなくていい	7
--------	---	---------	---

◎パン食は週または月に何回食べたいですか？

・週1回⇒5	・2週間に1回⇒4	・月1回⇒0	・たまにでいい⇒0
--------	-----------	--------	-----------

◎揚げ物の頻度はいかがですか？

多い	0	普通	11	少ない	0
----	---	----	----	-----	---

◎食事のメニューについて感じたことがあれば書いて下さい。

- ・各メニュー、ここまで重くなくても良いのではないかと考えています。
- ・作る人によって盛り付け・味付け適当にみえる。
- ・盛り付け味付け、その時々を作る人で適当に作っているように思える。

◎その他、普段気になっている事・食事に対してのご意見ご要望等があれば書いて下さい。

- ・主副食が冷たい場合が多い。
- ・ブロッコリー等のサラダの材料が多いようですが茹でてほしい。
- ・入所して始めの頃、皆さまの食事の時間が早いのに驚きました。これから入所される方は気をつけてあげて下されば助かる方もいると思います。
- ・このアンケートが作っている人にも見てもらいたい。
- ・人参・ごま・ひじき・少し多く食べたい。
- ・いつもお世話になり感謝です。ありがとうございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

ウ. 入浴

入浴日は週3回（月・水・金曜日）とし、シャワーは毎日使用できるようにしております。

現在のところは、入浴時の事故問題等はありませんが、危険を伴う入所者もあり、事故の心配がないわけではありませんので、プライバシーに気を配りながら、見回りや見守りを行っております。また、入所者の高齢化に伴い、設備的にも安全な入浴を確保することが必要であることから浴室に手摺りを設置し、更には入浴介助を必要とする人には訪問介護の利用を進めて対応してきたところであります。

エ. 緊急時の対応

緊急時に対応するマニュアルを作成し、入所者に対しても避難訓練のほか、交通安全講習、健康相談等を行い、予防意識を高めています。

夜間については基本的には職員の勤務体制はないため、(株)アイビックスに委託し警備体制を整えています。場合により入所者対応もありうることを前提に、警備

員との連携を図っています。

オ. 生活援助

現在、10名が介護保険制度を利用した訪問介護サービス・通所サービス・福祉用具貸与（歩行器・手押し車・手摺りを貸与）を利用しております。今後も入所者が援助及び介護を要する状態になった場合は、介護保険の適用のための要介護認定、医療機関への連絡、家族との調整等の対応を図り、関連諸制度の活用を図ってまいります。

カ. 保健衛生

健康の保持・管理は、介護予防に直結するため、自己管理を基本としながらも、日常生活の中で体調の把握に努め、疾病や通院、服薬等の状況を確認し、適時助言等行っています。また、保健支援マニュアルを作成し、意識の高揚を図り、細心の注意を払っています。

健康診断の情報を提供し、受診を勧めたり、毎月1回保健師による健康相談を行ったり、自己判断に偏らない機会を設けています。また平取国保病院との連絡体制を強化し、受診時の重要な連絡事項・医師の助言を連絡していただくこととし、家族とのパイプ役を担っています。

感染症等の予防には、その都度必要に応じて打合せを行っています。また、関係機関の研修会に積極的に参加し情報を収集して、入所者に対しても手洗いの重要性の啓蒙活動を行い、インフルエンザ・ノロウイルス感染予防に努めております。

資料

※入院者数

入院先	男性	女性
平取国保病院	1名	4名
苫小牧市内	2名	
札幌市内		1名

※通院状況

通院先	男性	女性
平取国保病院	4名	13名
苫小牧市内	4名	4名

キ. 入所者の活動への協力

しずかでの生活に慣れるにつれ、それぞれが自分の生活リズムを取り戻し、個々の活動が見受けられるようになりました。それぞれが異なる生活習慣を持ち、それぞれの趣味や嗜好がある中、共通の楽しみを見つけ共に活動したり、地域の集まりに参加できるよう支援をしてまいりました。

また、健康・安全・安心・介護予防の観点から助言等を行い、入所者の自主的活動にも支援をしてまいりました。

(3)日課表

通年通して日課表どおり実施することができました。

ケアハウス しずか 日課表

時 間	内 容
	起床
7 : 4 0	ラジオ体操
7 : 4 5	朝食
8 : 3 0	下膳 余暇 (娯楽・ゲーム)
1 1 : 4 5	軽体操・健口体操
1 2 : 0 0	昼食
1 2 : 4 5	下膳
1 3 : 0 0	余暇 (娯楽・ゲーム・軽体操) 入浴 (月・水・金) 13:00~17:00
1 7 : 3 0	夕食
1 8 : 1 5	下膳

月 日	行 事 名
4月 1日	開設記念日
4日	脳トレ
5日	カラオケ
6日	健康相談・血圧測定 コグニサイズラダー講習
10日	五月人形飾り
11日	脳トレ
12日	手芸
13日	百人一首 居室点検
18日	脳トレ
19日	カラオケ
25日	脳トレ
26日	カラオケ
27日	職員会議 誕生会 施設内ゲーム
29日	さくら会計訪問監査
5月 2日	脳トレ
9日	静内花見見学ドライブ
10日	決算監査
11日	健康相談・血圧測定
12日	百人一首 給食会議
14日	母の日カーネーション宇南山生花店より寄贈
15日	富川買い物ツアー
16日	富川買い物ツアー
17日	カラオケ
18日	ゆから入浴 穂別つつじ見学ドライブ
23日	脳トレ 穂別つつじ見学ドライブ
24日	いきいき100歳体操
25日	職員会議 早来菜の花見学ドライブ しずか花見会
29日	エレベーター保守点検
30日	しずか花壇除草
31日	カラオケ
6月 6日	脳トレ
7日	カラオケ

6月	8日	健康相談・血圧測定 施設内ゲーム
	9日	カードゲーム
	13日	脳トレ
	14日	カラオケ 浄化槽保守点検
	15日	百人一首
	18日	父の日花束宇南山生花店より寄贈
	20日	交通安全教室
	21日	ぬりえ
	22日	しずか遠足 居室点検
	24日	裁縫の日
	26日	しずか花壇チューリップ球根取り さくら会計訪問監査
	28日	しずか花壇花植え
	30日	職員会議 避難訓練
7月	2日	きみかげ草慰問
	4日	脳トレ
	5日	芳誠会慰問 カラオケ
	6日	健康相談・血圧測定
	7日	給食会議
	13日	ゆから入浴
	18日	脳トレ
	19日	手芸 しずか花壇除草
	20日	居酒屋しずか
	24日	町内外食の日 (いこい食堂)
	25日	町内外食の日 (いこい食堂)
	26日	法人定例監査 誕生会 職員会議
	31日	口腔ケア講習
8月	1日	ボイラー・地下タンク保守点検 脳トレ
	2日	カラオケ ボイラー・ろ過機保守点検
	3日	健康相談・血圧測定
	4日	七夕飾り 給食会議
	6日	受水槽保守点検
	8日	富川買い物ツアー

8月	9日	居室点検
	10日	エレベーター保守点検 自動ドア保守点検 百人一首
	15日	義経神社祭見学
	17日	施設内ゲーム
	22日	脳トレ
	23日	カラオケ
	25日	職員会議 居酒屋しずか
	28日	誕生会
	29日	脳トレ
	30日	カラオケ
9月	2日	消防設備点検
	5日	脳トレ
	7日	健康相談・血圧測定
	8日	浄化槽保守点検 給食会議
	12日	脳トレ
	13日	防災訓練 カラオケ
	14日	敬老会
	19日	敬老の日花束宇南山生花店より寄贈 脳トレ
	20日	手芸
	25日	職員会議 誕生会
	26日	施設内ワックス掛け・外窓清掃 狩勝峠紅葉見学ドライブ
	27日	カラオケ
	28日	バチラー保育園交流 第1回入所判定委員会
10月	3日	脳トレ
	4日	カラオケ
	5日	健康相談・血圧測定
	6日	給食会議
	10日	脳トレ 手芸（文化祭作品～10月末日まで）
	11日	入所者健康診断（31日まで）
	12日	百人一首 居室点検
	13日	紅葉見学ドライブ
	17日	脳トレ

10月17日	平取婦人会慰問
18日	養護学校生実習（11月16日まで）
23日	職員会議 誕生会
24日	しずか花壇花抜き・清掃
26日	第2回入所判定委員会 夜間想定避難
27日	手芸
28日	さくら会計訪問監査
31日	ハロウィーン点灯
11月1日	法人定例監査 文化祭飾り付け
2日	文化祭見学
3日	文化祭片付け
7日	交通安全教室
8日	カラオケ
9日	健康相談・血圧測定
10日	給食会議
14日	脳トレ
15日	カラオケ インフルエンザ予防接種（12月16日まで）
16日	講和慰問
21日	手芸 エレベーター保守点検
22日	いきいき100歳体操
27日	職員会議 誕生会
28日	脳トレ
29日	カラオケ
12月4日	クリスマスツリー飾り付け 第3回入所判定委員会
5日	脳トレ
6日	カラオケ
7日	健康相談・血圧測定
12日	脳トレ
13日	カラオケ
14日	百人一首 居室点検
18日	職員会議 クリスマス会
19日	バチラー保育園交流
20日	カラオケ
21日	富川・むかわ買い物ツアー

12月22日	手芸
25日	誕生会
26日	クリスマスツリー片付け
27日	さくら会計訪問監査
28日	もちつき
29日	共同募金義援金伝達式
31日	年越し会
1月 1日	新年会
11日	健康相談・血圧測定
12日	給食会議
16日	脳トレ
17日	カラオケ
18日	いきいき 100歳体操
22日	職員会議 誕生会
23日	脳トレ
24日	カラオケ
25日	百人一首
29日	講和慰問
30日	法人定例監査
31日	ぬりえ
2月 1日	健康相談・血圧測定
2日	給食会議
3日	節分豆まき しずか雪あかり
5日	手芸
6日	脳トレ
7日	ひな人形飾り付け
9日	ボイラー・ろ過機・受水槽保守点検
13日	脳トレ 居室点検
14日	カラオケ
15日	エレベーター保守点検
20日	脳トレ
21日	カラオケ
22日	道指導監査
26日	職員会議 誕生会
27日	百人一首 さくら会計訪問監査
28日	カラオケ 自動ドア保守点検
3月 1日	健康相談・血圧測定

3月	4日	ひな人形片付け
	6日	富川買い物ツアー
	7日	カラオケ
	8日	百人一首
		給食会議
	10日	消防設備点検
	13日	脳トレ
		浄化槽保守点検
	14日	カラオケ
	15日	いきいき 100 歳体操
	19日	誕生会
	20日	施設内ワックス掛け・外窓清掃
	23日	ビデオ鑑賞
	27日	脳トレ
	28日	職員会議

4. 研修計画

当施設入所者の適切なサービス計画書作成のためにも、職員の専門的なスキルアップが肝要であることから、各種研修会等の参加に努めて参りました。

(1)施設内研修

随時情報交換を行い、同じ福祉施設内で働く職員として共通理解・共通認識に努めてまいりました。

①定例の職員会議の開催

②施設外研修・会議等の報告会の開催

③毎日のサービス提供記録簿に基づく反省・評価

(2)施設外研修

軽費老人ホームの今後のあり方として、社会的援助を要する高齢者の受け皿的な役割を果たしていかなければならないことに鑑み、専門性の高い人材（社会福祉士・精神保健福祉士）を確保していくことが必要であることから、自主的な資格取得等の研修が受けられるように努めるとともに、スキルアップのための研修会・講習会への参加を促進してまいりました。

①行政機関・民間及び財団が主催する研修会・講習会等への参加。

②町内福祉サービス事業所（指定通所介護事業・指定訪問介護事業・居宅介護支援業等）の視察と意見交換会の実施

5. その他

(1)入所者年代構成表(平成30年3月31日現在)

	男 性	女 性	合 計
60歳代		2名	2名
70歳代	1名	1名	2名
80歳代	4名	6名	10名
90歳代	1名	5名	6名
計	6名	14名	20名
平均年齢	83.3歳	83.3歳	83.3歳

(2)入所者前住所別構成表(平成30年3月31日現在)

		男 性	女 性
平 取 町	紫雲古津		1名
	荷 菜		1名
	本 町	1名	5名
	振内町	4名	6名
	荷 負	1名	
室 蘭			1名
計		6名	14名

(3)入所者要介護度構成表(平成30年3月31日現在)

階 層	男 性	女 性	合 計
要支援1	1名	1名	2名
要支援2	3名	2名	5名
要介護1		2名	2名
要介護2		1名	1名
計	4名	6名	10名



平成29年度

事業報告書

社会福祉法人 平取福社会
相談支援事業所「なないろ」

事業報告書 目次

1. はじめに	1
2. 経営計画に関わる概要	1
3. 相談等の実施実績	1
① 実施日数	1
② 相談受付ルート	1
③ 相談方法の状況	1
④ 障害別利用件数	1
⑤ 相談内容	2
4. 相談種別件数	2
① 基本相談のみ	2
② 特定相談(サービス等利用計画)	2
③ 特定相談(継続サービス等利用計画)	2
④ 一般相談(地域定着)	2
⑤ 認定調査	2
5. 緊急対応及び虐待防止対応	2
6. 区分認定調査	2
① 調査実績	2
7. 職員研修等	2
① 情報交換及び勉強会	2
② 研修	2

1. はじめに

平成29年度の事業といたしましては、福祉サービスを利用している障害者への相談計画書及びモニタリング報告書作成を主に行い、地域生活支援として在宅者の就労・生活状況の確認や相談、及び退院に向けた支援等を行ってきました。

また、計画書等の作成の他、年金申請・生活保護費等についての相談及び協力依頼が、多くはありませんが来るようになってはいますが、一人ひとり生活環境や状況が違いうため、必要とする支援も異なっています。一緒に考えたり、関係機関へ問い合わせや協力を求めたりして進めています。

平成30年度から、計画相談等に加え、平取町権利擁護相談支援事業の委託を受けることになりました。平取町・社会福祉協議会・様々な関係機関との連携を図り、見守りから調査・審査・申し立て・後見サービスの提供等が、スムーズに地域の中に担保されるよう励みます。

2. 経営計画にかかわる概要

平成29年度の経営の基本方針をもとに、平取町から委託を受けた基本相談と、平取町指定の特定相談支援事業・障害児相談支援事業、道指定の一般相談支援事業（移行・定着）、その他、各市町村からの委託契約で行う認定調査や必要に応じて他町村との連携等で事業を行ってきました。

3. 相談等の実施実績

① 実施日数 240日

② 相談受付ルート

- ・障害福祉サービス事業所 ・他町村の相談支援事業所 ・行政機関
- ・病院 ・家族 ・学校

③ 相談方法の状況

方法	電話	訪問	同行	来所	計
延件数	278	862	15	95	1,250

※下記の4点は上記に含む

- ・関係機関情報提供・調整
- ・家族の相談、会議
- ・地域定着支援者 2件
- ・認定調査

④ 障害別利用延件数

	知的障害	精神障害	身体障害	発達障害	その他
障害者	985	131	67	4	1
障害児	33	0	0	24	5
計	1018	131	67	28	6

計 1,250件

⑤ 相談内容

内容	延件数	内容	延件数
福祉サービスの利用関係	403	社会参加関係	89
障害や病状の理解関係	6	余暇活動関係	206
健康・医療関係	356	権利擁護関係	2
不安の解消・情緒安定関係	137	住宅環境関係	47
保育・教育関係	19	施設利用・案内関係	32
家族・人間関係	385	情報提供・確認等関係	400
家計・経済関係	68	行政・制度の説明関係	38
生活技術関係	241	手帳・年金・申請関係	50
移動関係	4	その他の福祉関係	5
就労関係	348		
社会資源の活用関係	74	計	2,910

4. 相談種別件数（延数）

① 基本相談のみ	895件
② 特定相談（サービス等利用計画案及び計画作成）	85件
③ 特定相談（継続サービス等利用計画作成（モニタリング））	178件
④ 一般相談（地域定着）	86件
⑤ 認定調査	6件
	計 1,250件

5. 緊急対応及び虐待防止対応 0件

6. 区分認定調査 調査実績 6件（白糠町 千歳市 釧路町 岩見沢市 清里町）

7. 職員研修等

①情報交換及び勉強会

- ・日高圏域相談支援連携会議・生活困窮者相談支援事業会議
～日高管内の同事業者（相談支援事業）が集まり、情報交換や事例検討会を月1回開催しています。
- ・医療と福祉の連携会議
～日高管内の同事業者（相談支援事業）と病院（新ひだか町・石井病院）との連携がスムーズに行われるよう、医療と福祉の連携会議を定期的で開催し、日高圏域地域生活移行支援協議会で検討依頼と現状報告をしています。

② 研修

福祉サービス業に係る集団指導をはじめとし、発達障害・障害支援等に係る研修及び虐待防止・障害者雇用支援・差別解消法等の権利擁護に係る研修、その他、地域生活における連携及び情報交換並びに生活保護世帯等支援等の勉強会等に参加いたしました。